



鳴門中学校は、「鳴門市学園都市化構想」の事業として、鳴門教育大学と連携した活動を展開しています。その一つとして、数学の指導法改善に取り組み、今日2回目の授業を行いました。今年度、2・3年生の数学は、クラスを2つに分けて少人数で授業をしており、2Bの半数の生徒の授業を参観し研究協議を行いました。

今日は、これまでにならったことを使って、 X の角度を求める問題です。「できるだけたくさんの方で考えてみる」という課題に取り組みました。最初に一つの考え方について発表した後、それ以外の方法を自分で、班で考え、発表し合いました。補助線を引いたり、計算を使ったりして10通りの考えが示されました。最後に、それを文字を使った式に整理して一時間の学習を終えました。

その後、大学の先生方に、今日の授業の成果や課題について指導していただきました。生徒の皆さんが、多様に考え、それを発表しあって考えを深める授業は「**アクティブラーニング**」を意識した活発な授業だったと思います。



X°